

分科会 II  
(全分科会共通課題)

**分科会Ⅱ（全分科会共通課題）【75分】**

【分科会Ⅱの進行】

- ① はじめのことば（分科会司会）
- ② 共通課題に対する協議（P・PⅡ 充実期）  
『自立して学ぶ児童生徒の育成に向けた「自学自習力」の育成』  
◇事例（各学校の取組）など自由闊達な意見を出し合う。
- ③ グループ発表（2グループに自主的発表又は共同研究者推薦）
- ④ 共同研究者からの『振り返り』
- ⑤ おわりのことば（分科会司会）

**協議題：自立して学ぶ児童生徒の育成に向けた「自学自習力」の育成**

（「令和5年度学力向上推進会議からの提言」における「重点事項」について（解説より抜粋）

**自学自習とは**  
児童生徒が目標達成に向けて自分自身の現状を把握し、そのために必要な学習や訓練を計画し、自己調整しながら継続していく学習（沖縄県教育委員会「自学自習ガイド」）

学びに対する主体性を、児童生徒の学びの自立に繋ぎたい。そのために、児童生徒一人一人が、「なりたい自分」を意識しながら、授業で身に付けたことを家庭学習に生かす、家庭で学んだことを授業に生かす、というような自学自習の学習サイクルを持つようにすることが大切です（図1）。

図1のような学習サイクルでは、「目標設定→計画→（実践）→振り返り→調整」のプロセス（図2）を踏まえることで、自らの学びを自己調整しながら学ぶ力が育つと考えます。指導にあたっては、「自分是可以る」という「動機付け」、効果的な「学習方法」について理解すること、自分の学びを俯瞰的に捉えてこれから必要な学びはどのようなものかを考える「メタ認知」の3つを踏まえることが大切です。

※上記を踏まえ各学校の事例等を紹介したり課題等を自由に話し合う場とする。

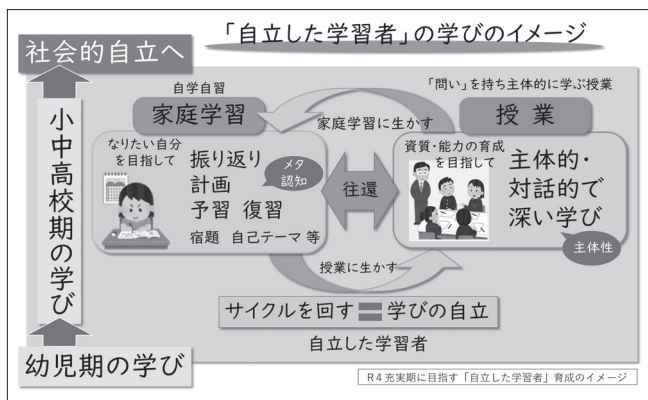


図1：自立した学習者の学びのイメージ

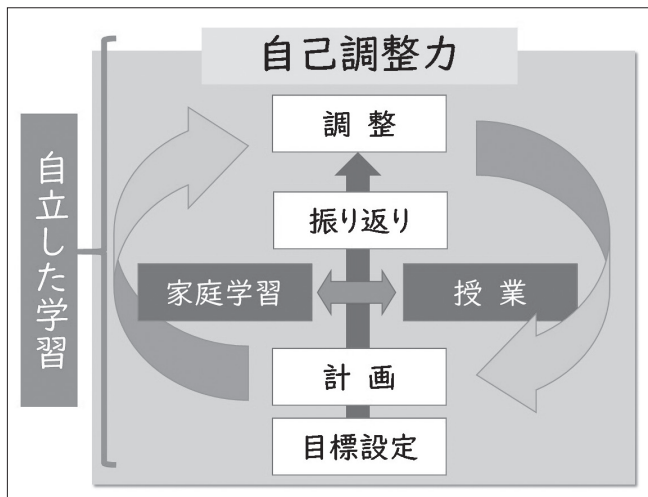


図2：自己調整力を育むプロセス